

# 一般質問(要旨)

第4回定例会では、12月4日、5日、7日、10日の4日間にわたり19人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



篠 浩司

## いじめ・不登校について

**問** ①全国のいじめ認知数が過去最多となったが市の状況は②いじめを認知した際の対応は③いじめ問題対策委員会ではどのような協議が行われたのか④不登校も増加傾向のことだが市の現状は⑤3年前から実施している小菅村宿泊体験の効果は⑥ことも教育支援財団との協力提携で具体的には何をを行ったのか、またその効果と今後の予定は⑦不登校支援の目指すところは。

**答** ①小・中学校ともおおむね横ばいの状況②4つの基本方針「いじめを生まない、許さない学校づくり」等をもとに取組む③委員会役割等を確認し事例協議④都と比較し小中学校は0.14P高く中学校は0.25P低い⑤年を重ねるごとに生徒主体の活動となった⑥不登校の子供同士の交流活動等。肯定的な感想を抱いた。ゆうゆうコンサート実施⑦社会的自立支援、不登校を生まない学校の取り組み。

## 水道道路に関するこれまでの経過と今後の見込みについて

**問** ①調布都市計画道路3・4・16号線の現在の整備状況と今後の予定②水道道路が整備されることにより期待される効果は③東京都との調整の経過について④関東地方整備局に担当部長が直接要求された内容とは⑤事業を進めるに当たり住民への対応と意見はどのようなものか⑥水道道路事業概要説明会、事業認可取得に向けて都へどのような協力をするのか。またどのような努力をするのか。

**答** ①電中研前までは平成34年度完成予定。32年度と37年度に事業認可取得予定②幅員確保とネットワークによる防災機能等強化③要望書を提出以降、3・4・16号線基本計画を策定。都からは事業化に向け調査等を進めると回答を得る④橋梁間ネットワーク機能向上から、水道道路の拡幅を要望⑤早期整備を望む声が多い⑥説明会の早期開催に向け、現段階から事業完了まで可能な限り協力する。



三角 武久

## 狛江市が行うがん対策について

**問** ①市が行うがん対策の目的・事業展開について②指定医療機関の検査体制を検証する仕組み③市におけるがん検診総合判定の仕組み④エックス線曝露に対して市民への周知内容が不十分であるが、市の所見⑤杉並区の事実検証から見る狛江市の防止策は。

**答** ①予防、早期発見、適切な治療につなげる。検診の質の管理にも取り組む②まだ不十分③二重読影の判定が違う場合は重い判定を反映。精度管理も細かく決めている④具体的な明記を施行⑤より信頼できる検査機関を選定。チェックリスト活用、国の指針遵守。

## 高齢者の安心安全

**問** ①亡くなられた方の様々な手続きについて市の取り組みは②死亡時に役所での手続きで疲れ果ててしまった事例に対し、市の現状改善に向けた取り組み③高齢者のおひとり住まいの方の終活支援について④三田市に「おくやみコーナー」が開設。狛江市の所見。

**答** ①手続きをまとめた冊子を死亡届提出時に渡している②メリットと課題を整理し、少しずつ改善してきた。今後国の動向も注視③エンディングノートの配布、勉強会の開催、経験のある方等と意見交換④葬儀、遺品整理の心配ごと等に関する支援策を調査研究。

## 防災対策

**問** ①地域防災計画の近年の修正状況②タイムラインの作成状況並びに進捗状況③多摩川、野川の氾濫を想定した水害、住民避難の対応策④ブロック塀補助制度の導入⑤様々な危機に対しどのような姿勢で臨むのか。

**答** ①30年3月に修正②原案を庁議に付議、諸所の調整中③水害想定の本部訓練は実施済み。効果的な避難訓練を研究中④来年度からブロック塀等の撤去補助の創設を検討したい⑤市民の生命・身体及び財産を守る姿勢。



栗山 剛

## 安心で安全なまちづくりのために

**問** ①10月21日に行った狛江市総合防災訓練において総合的な評価は。

**答** ①10月21日に行った狛江市総合防災訓練において総合的な評価は。②分かりにくい町会区分解消のために、住居番号表示板に各町会等の会員が自主的に自分の町会名をシール等で貼ることは可能か。③家具転倒防止器具が取り付け困難な方に対して支援の予定はあるのか。④自宅での紙おむつの使用増加が見込まれるが、今後紙おむつの出し方の方向性はどうか考えているのか。⑤名称的には自転車用道路に聞こえる野川サイクリングロードは、歩道扱いか。⑥来年度より狛江市境の野川改修工事が始まるが、その後の狛江市内に入る工事予定はどうか。⑦オリンピック期間中、野川をPRする予定はあるか。

**答** ①通算4回目となり、回を重ねることに課題は徐々に解消されている。マンネリ化を懸念する声や児童引き取り訓練等の要望あり。②住居表示番号が隠れなければ問題ない。③検討すべき課題である。④市民負担の軽減を図る方向で検討。⑤歩行者・自転車専用道路として占用した道路。⑥2019年から2026年までの濁水期(11月から5月まで)に施工を予定。⑦英語版の野川マップを、オリンピック等に絡めた様々な機会に配布予定。



谷田部 一之

## より豊かな市民生活と将来に向けて

**問** ①和泉多摩川地域の活性化のために新設バス路線の拡充は②狛江市、世田谷区、調布市のコミュニティバスの相互乗り入れは③二子玉川から和泉多摩川までの早期バス乗り入れは④ほかほか広場への障がい者施設今後の建設計画は⑤東京2020大会を成功させるには近隣の大学、自治体、民間企業とコラボしながらスポーツの向上を活性化させる必要があると思うかが⑥第一小学校の児童数増加と今後の展望は⑦放課後クラブやKokoaにも影響が出てくると思うかが⑧既存のKokoaルーム、放課後クラブの今後は⑨将来少子化に向かう時の市の対応は⑩あいびあセンターに備蓄している医薬品、熱中症や脱水症状のためOS-1などの経口補水液が必要ではないか⑪避難所運営協議会に、地域とつなげる役割として医師会を交えるべきであると思うかが。

**答** ①新設路線は課題②課題は多いが相互連携の方向性が良い③運行事業者へ粘り強く伝えていく④計画を白紙とし別の手法による対応を検討⑤東京2020大会に関する取り組みを進める体制として、重要な視点であると認識している⑥既存施設の活用を優先するとともに校舎の増築を予定⑦第一小学校の児童の増加は、学童クラブ及びKokoaにも大きな影響が出る⑧放課後クラブとKokoaは、増築棟の居室で運営される予定⑨高齢者施設への転用も考慮し、エレベーターを設置する等バリアフリー化を意識した計画⑩優先度を考慮しつつ検討したい⑪避難所運営協議会の意見も参考に検討したい。

